

平成28年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会議名	子育て団体とのまちづくり懇談会（タウンミーティング）
開催日時	平成28年12月16日（金）午前10時00分～11時30分
開催場所	川島町役場 町長室内
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部公開
非公開の理由 （非公開の場合のみ）	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議 題	(1) 川島町の少子化対策について (2) 子どもの遊び場について (3) 今後の子育て支援について
出席者	●町 ： 飯島町長、子育て支援課山崎課長、子育て支援課松本主幹、政策推進課秘書室柴生田主査 ●団体： 子育て関係団体（5名）
配布資料	資料1 子育て支援拠点施設について 資料2 町立保育園が変わります 資料3 かわみんタクシー 資料4 かわべえメール
<p>審議等の内容又は概要</p> <p>1 開 会</p> <p>2 自己紹介</p> <p>3 タウンミーティング</p> <p>①子育て支援拠点施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた部屋割り（またはパーテーションで区切る等）。 ・曜日ごとにイベントを実施 ・食事ができるスペース ・遊具には嗜好を凝らして。近隣市町村の「良い遊具」をよく見て。 ・ママ一人では複数の子を見きれないので、面倒見てくれるスタッフを常駐 ・エレベーターの設置 <p>②子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものインフルエンザ予防接種費用の全額助成 <p>③教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわみん学習ノートの配布冊数増加（使用した分だけ） 	

- ・学校で、宿題の面倒を見てくれるよう制度化
- ・子どもの習い事をできる場を提供（できれば無償で）

④その他

- ・町民体育館を個人レベルで利用できるように
- ・町内に医療機関を充実させる

質疑応答・意見提案 ※(1)～(3)のテーマ分けをせず、フリートーク形式で実施

町長：今回挙げられたテーマについて、まずは(1)少子化対策だが、かなり深刻な問題。婚活事業を計画して実施しているが、なかなかうまくいかない状況。(2)子どもの遊び場については、町内などに防犯カメラをつけて子どもの遊び場などを整備しているが、なかなか子どもが集まってこない状況。(3)子育て支援について、策を凝らしてアイデアを事業にしている。町長となってから、住民の声が届きにくくなってしまった。このような場を設けて、できるだけ住民の声を聞きたい。

団体：児童館がないことに驚いた。〇〇市にいたときは、「〇か月の子ども集まれ」など、市の広報で呼びかけをし、年（月）齢ごとに集まる場を作ってくれている。その場で連絡先を交換したり、子ども同士が友達になれたり、よい対応をしてもらっていた。児童館があったほうがいい。子供用のトイレがあったり、ご飯を食べられるスペースがあるといい。

団体：自分も児童館が欲しいと思う。室内で思いっきり遊べる場がほしい。町内にはないので、他市町村の施設を利用している。

団体：児童館ができるのを知りたい。どんな施設ができるのか知りたい。

団体：児童館ができるのは楽しみ。ただ作るのではなくて、曜日によってイベントを行ったほうが集まると思う。イベントは年（月）齢別に行ったほうが参加しやすい。

団体：児童館をつくるなら、ベビーベッドなどが設置してあって、子どもがお昼寝をしている間、ママがゆっくりできるといい。以前住んでいた〇〇市では公民館などでママ同士の交流会を行っていた。初対面だけが集まる会と、2回目以降が集まる会など、ママ友ができやすい設定だった。川島はママ友、子ども同士の友達が少ない。

※担当課より子育て支援拠点施設の説明

愛称「かわみんハウス」とした。1階は子育て支援センター、2階は子どもの遊び場など。学童保育やスクーリングサポートセンターも一緒に施設。木曜休館で土日は開館。利用料は無料。スタッフなどを常駐させ、講座なども行う予定。設置にあたっては、〇〇市などを参考にした。

団体：新しい施設ができたら、さくら保育園の子育て支援センターは利用できなくなるのか。⇒現在検討中。

団体：〇〇市は、昼間はいったん閉鎖するけれど、食事ができるスペースを一部開放している。パン屋が販売に来る。

団体：自分は、運転免許はあるが自動車を持っていないので、普段は友人に交通を頼

んでいる。でも自分で行きたいと思ったときに自由に行けない。かわみんタクシーは知っているが、利用したことはない。利用料金も正直負担。もし300円に設定されたとしても、往復600円と考えると、支援センターに行くためには利用しにくい。

団体：支援センターにスタッフは常駐しているのか。でないと参加しにくい。⇒する予定。

(町)：みなさんは、町の情報をどこから仕入れるのか。

団体：保育園、幼稚園からのお知らせなどは確実にみる。広報紙は…、正直あまり見ない。ママ友同士で聞くことも多い。

団体：支援センター、利用しようと思うポイントはどのような遊具があるか。どういうものを考えているのか。⇒ボールプール、ボルダリング等

団体：ブランコはどんなものが入るのか。〇〇市の公園に設置されているブランコみたいなものがある。

団体：子どもが複数いると、なかなかママ一人では面倒見きれない。支援センターなどに連れて行ったとき、年齢で利用できる部屋を分けたりしてほしい。また、子どもを面倒見てくれるスタッフがいるといい。

団体：エレベーターがほしい。ある程度大きくなった子どもだと制御がきかず自分でどんどん先に行ってしまう、目が行き届かない。事故などないように対応してほしい。

団体：一人っ子の家庭では、子ども同士がちょっとケンカなどするとすぐにもめてしまう。新しい施設では、一人っ子家庭のママと子どもだけが利用するような部屋があったらいいと思う。

団体：児童館が利用しやすければ「行きたい」と思うようになるし、行きたいと思う児童館があると「住みたい」と思う。どのママも、ママ同士で情報交換をし合っていて、近隣市町村の児童館など、どこが「いい施設」などよくチェックしている。今回川島で施設を作るのであれば、是非〇〇市と〇〇市の児童館は見て参考にしてほしい。

また、情報がなかなか得にくい。幼稚園に行けば情報が得やすいが、就園前までは、広報紙などに頼っていた。それでもなかなか見ない。見るとしたら、カラーになっているページなどは目が行く。子ども関係の記事だけでもカラーにすれば見ると思う。

団体：かわべえメールを発信しているのであれば、ママに向けた情報発信などもしてほしい。

町長：インター周辺開発で税収を上げ、また健康に関する事業などが行える場所なども設けたいと検討している。自然の豊かさについては、耕作放棄地が増えないよう、農地の集約化を行っている。また教育の面については、幼保一元化などの案もあったが、なかなかうまくはいかない。なので、保育園に教育機能を少し持たせるなど事業を展開している。就学後の教育にももちろん力を入れたい。子どもの学力アップをねらい、私塾との連携事業や、ALTの配置など、町単独財源を投入して対応を図っている。よその町に負けない町にしたい。小

さな町だからこそまとまりやすい。

団体：今回、このような機会はとてもよかった。子育て支援の件で要望がある。1つは、インフルエンザ予防接種の助成、できれば全額助成してほしい。子どもが複数いると、割と高く結構負担。2つ目は、町民体育館を個人レベルで利用できるようにしてほしい。家族で利用したい。

団体：今後就学したことを考えて、学校は宿題が多いと聞いている。しかしママがお勤めをすると、子どもの宿題はなかなかみてあげられないので、宿題の量を減らしたり、学校自身が宿題の面倒をみるなどの対応をしてほしい。

団体：町内に医療機関を充実させてほしい。皮膚科もぜひ。

団体：町内に習い事をするところがないと感じる。しかし習い事はお金もかかるので、町内にボランティアで教えてくれる事業を行ってほしい。また、学校で配られている「かわみん学習ノート」だが、3冊までしかもらえず、それ以上は家庭で購入している。うちの子はもう既に9冊目に入っているなので、やった分だけ欲しい。